

# 今、何の病気が流行しているか！

【感染症発生動向調査事業から】



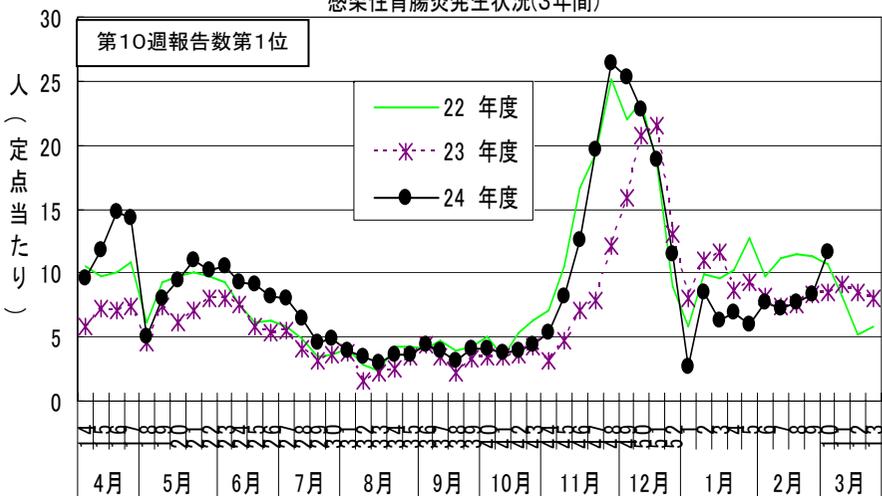
KAWASAKI CITY



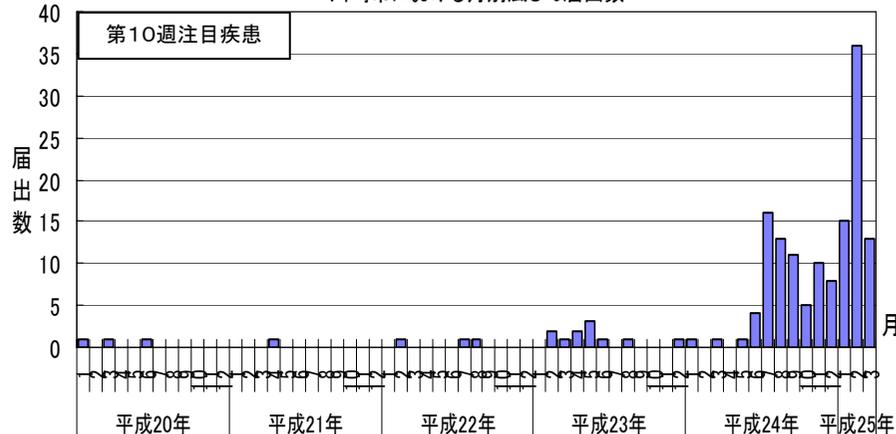
## 平成25年3月4日（月）～3月10日（日）〔平成25年第10週〕の感染症発生状況

第10週で定点当たり報告数の多かった疾病は、1)感染性胃腸炎 2)インフルエンザ 3)A群溶血性レンサ球菌咽頭炎でした。  
 感染性胃腸炎は定点当たり11.70人と前週（8.36）より患者報告数は増加しましたが、例年より低いレベルで推移しています。  
 インフルエンザは定点当たり5.19人と前週（5.67）より患者報告数は減少し、例年より低いレベルで推移しています。  
 チクングニア熱の報告が1件（推定感染経路：インドネシアにおいて蚊から感染）ありました。なお、本報告は、チクングニア熱が報告対象疾病に追加された平成23年2月以降、市内で初めての報告です。

感染性胃腸炎発生状況(3年間)



川崎市における月別風しん届出数



## 海外旅行へ行く際には、「蚊（か）」に要注意

第10週において、報告対象となった平成23年2月以降、川崎市内で初めて「チクングニア熱」の報告がありました。患者はインドネシアへの渡航歴があるため、渡航先での感染が推定されています。

海外の蚊は、日本では発生がない感染症の原因となるウイルスなどを持っている可能性がありますので、主にアジア・アフリカ方面へ旅行される際には、感染予防対策が必要です。

### チクングニア熱って何？

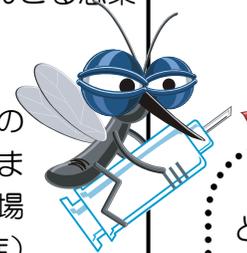
チクングニアウイルスによっておこる感染症です。

#### 潜伏期間・症状

潜伏期間は3～7日程度で、突然の発熱や強い関節痛で発症します。また、関節痛は数週間から数ヶ月続く場合があります。重症例では神経症状（脳症）や劇症肝炎が報告されています。

#### 感染経路

ネッタイシマカやヒトスジシマカなどの蚊に刺されることによって感染します。日本国内での感染事例はありませんが、東南アジアなどに渡航した際に感染する事例が報告されています。



海外で蚊に刺されることによって、**デング熱やマラリア**などにも感染する可能性があります。

そのため、流行地に旅行する際は、**長袖の服の着用**や**防虫スプレーの使用**により蚊に刺されないようにしましょう。

